

# 2026年3月期 第2四半期 決算概要

テルモ株式会社  
Chief Financial Officer  
萩本 仁

2025年11月12日



# おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# ハイライト

## ■ 売上収益

- 上期として過去最高を達成
- 米州が牽引し好調な売上が継続、為替影響を除いて+8%の伸長

## ■ 利益

- 営業利益・調整後営業利益・当期利益の全てにおいて、上期として過去最高
- 価格政策と適切な費用コントロールにより、売上成長を上回る伸長を継続

## ■ 業績予想の修正

- 好調なファンダメンタルズと為替前提の変更を反映し、売上・調整後営業利益を上方修正
- 買収関連費用および一時費用の影響を反映し、営業利益を下方修正

# P&L, FCF実績

- 売上収益：北米を中心に、TIS、グローバルブラッドソリューションが牽引
- 営業利益：売上増と価格政策から売上総利益が増加、Q2以降関税影響を含むも適切な費用管理により利益率は改善

金額（億円）	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	増減率	為替除く増減率	FY24 Q2	FY25 Q2	増減率
売上収益	5,087	5,349	5%	8%	2,505	2,750	10%
売上総利益 (%)	2,770 (54.5%)	2,925 (54.7%)	6%	8%	1,395 (55.7%)	1,470 (53.5%)	5%
一般管理費 (%)	1,480 (29.1%)	1,564 (29.2%)	6%	8%	732 (29.2%)	808 (29.4%)	10%
研究開発費 (%)	368 (7.2%)	335 (6.3%)	-9%	-5%	194 (7.7%)	171 (6.2%)	-12%
その他収益費用	-46	-16	-	-	-38	-40	-
営業利益 (%)	877 (17.2%)	1,010 (18.9%)	15%	18%	431 (17.2%)	451 (16.4%)	5%
調整後営業利益 (%)	1,040 (20.4%)	1,144 (21.4%)	10%	13%	529 (21.1%)	553 (20.1%)	5%
税引前利益 (%)	851 (16.7%)	1,012 (18.9%)	19%		395 (15.8%)	460 (16.7%)	16%
当期利益 (%)	632 (12.4%)	769 (14.4%)	22%		293 (11.7%)	351 (12.7%)	20%
フリー・キャッシュ・フロー	621	310	-50%				

期中平均レート(USD/EUR)

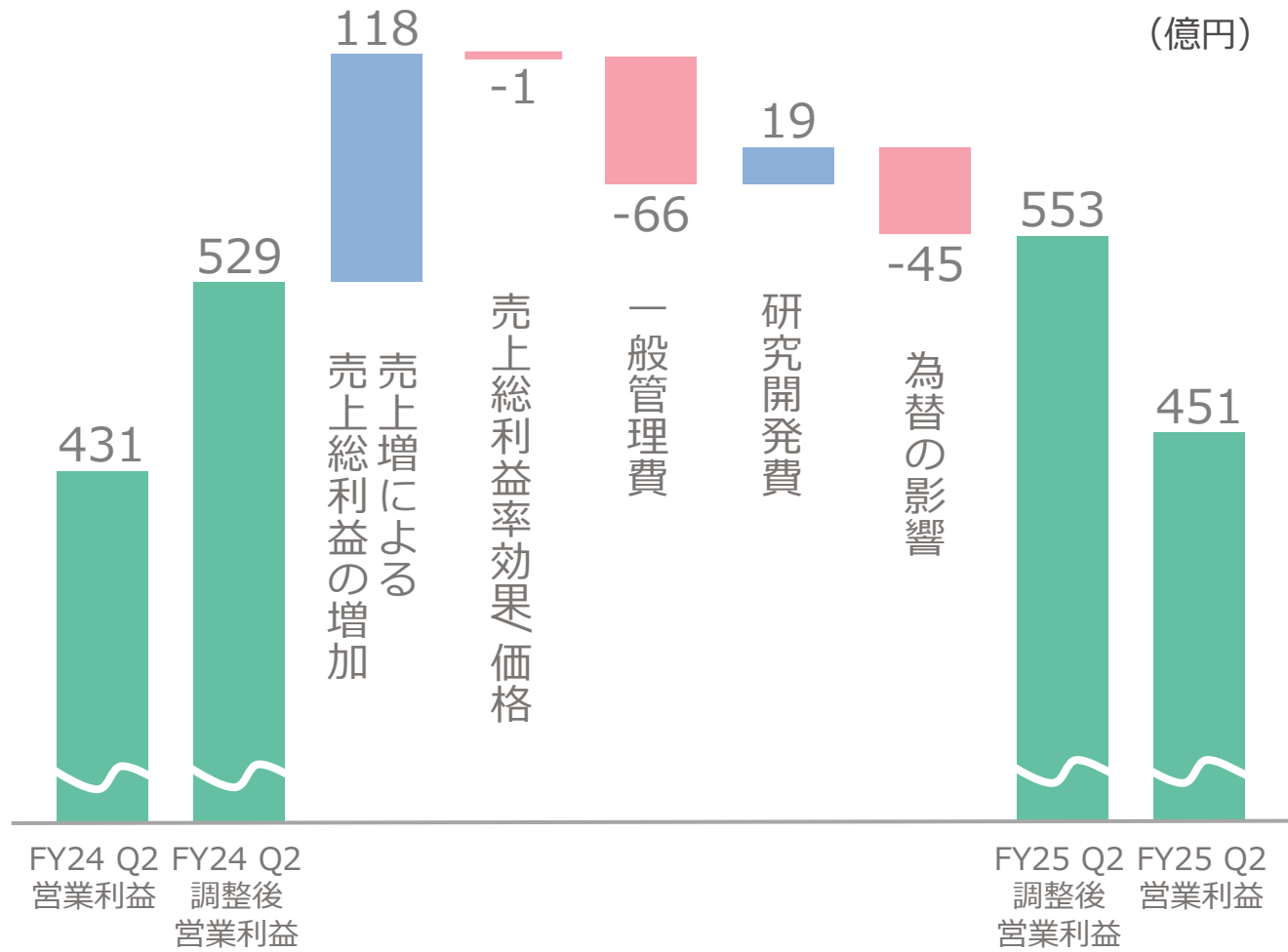
153円/166円

146円/168円

149円/164円

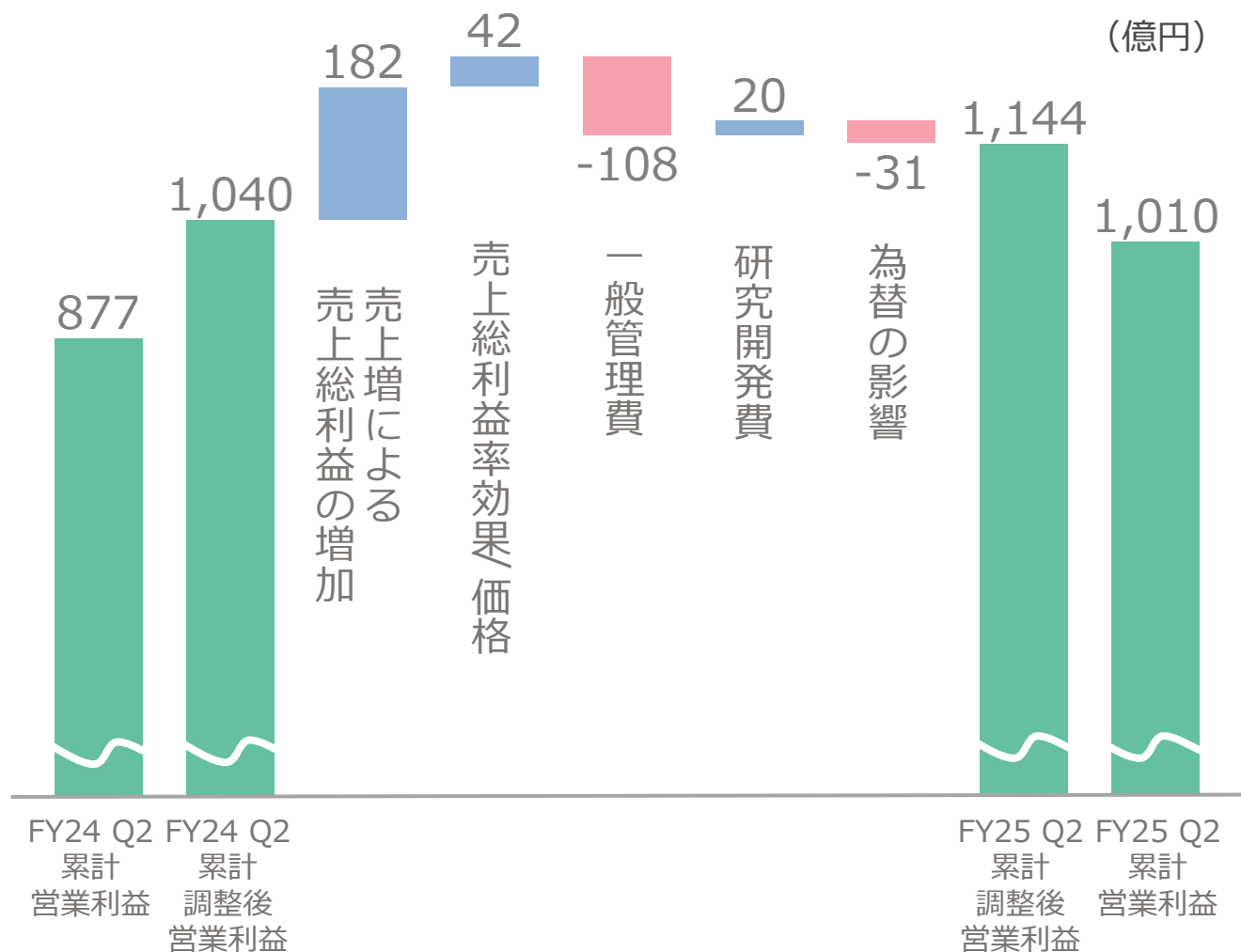
147円/172円

# 営業利益増減分析 (Q2) : 好調な売上により増益



- 売上増による売上総利益の増加：  
TISとGBSが全体を牽引
- 売上総利益率効果/価格：  
C&Vの価格政策が貢献する一方、Q2から関税影響が発現し価格効果を相殺
- 一般管理費：  
事業拡大に伴う増加
- 研究開発費：  
昨年資産化R&Dの減損を計上した影響もあり、前年比ではやや減少
- 為替の影響：  
フロー -5億円、ストック -40億円

# 営業利益増減分析 (Q2累計) : 好調な売上と価格政策が貢献



- 売上増による売上総利益の増加 : TISとGBSが全体を牽引
- 売上総利益率効果/価格 : C&Vの価格政策が想定より大きく貢献。一方、Q2から関税影響が発現し価格効果を一部相殺
- 一般管理費 : 事業拡大に伴う増加
- 研究開発費 : 昨年資産化R&Dの減損を計上した影響もあり、前年比ではやや減少
- 為替の影響 : フロー -19億円、ストック -12億円

# C&V : TISが全体を牽引、北米を中心に伸長を継続

(C&V: 心臓血管)

(億円)

	Q2			Q2累計			コメント	Q2累計 売上増減	
売上収益	( ) 内は為替影響除く						TIS インターベンシ ョナルシステムズ	: 北米は全製品領域で為替影響除いて二桁伸長、物量増加に加えて価格政策も寄与	+107
	1,351	1,496	1,642	2,657	3,063	3,221			
調整後 営業利益							TN ニューロ	: 中国ではVBP (集中購買) で販路拡大し、好調を継続。日本では脳動脈瘤の治療製品群が好調に推移。欧州も製品需要が拡大し伸長	+30
	308	397	413	576	769	870			
利益率							TCV カーディオ バスキュラー	: グローバルに伸長を達成し、計画を上回る推移。価格の見直しによる効果も発現	+19
	23%	27%	25%	22%	25%	27%			
							TA アオルティック	: 人工血管製品群の供給問題の影響があるものの、ハイブリッド製品の展開は想定通りの進捗	+3
	FY23	FY24	FY25	FY23	FY24	FY25			

# TMCS : PSの売上増が貢献し、増収増益

(TMCS: メディカルケアソリューションズ)

(億円)

	Q2			Q2累計			コメント	Q2累計 売上増減	
売上収益	( ) 内は為替影響除く 						HCS ホスピタルケア ソリューション	: 国内は価格政策が順調に進捗するも、事業譲渡と一部製品の供給問題を主因に減収。海外は北米における前年の一時的な需要拡大に伴う反動等により減収	-15
	調整後 営業利益								
利益率		FY23	FY24	FY25	FY23	FY24	FY25	PS ファーマシューティ カルソリューション	: 日本におけるCDMO事業では、Q2にこれまでの期ずれから回復し増収。海外では欧米のPLAJEXが好調
	11%	12%	12%	9%	12%	13%	利益		

# TBCT：血漿イノベーションが売上を牽引、利益も計画通りに進捗

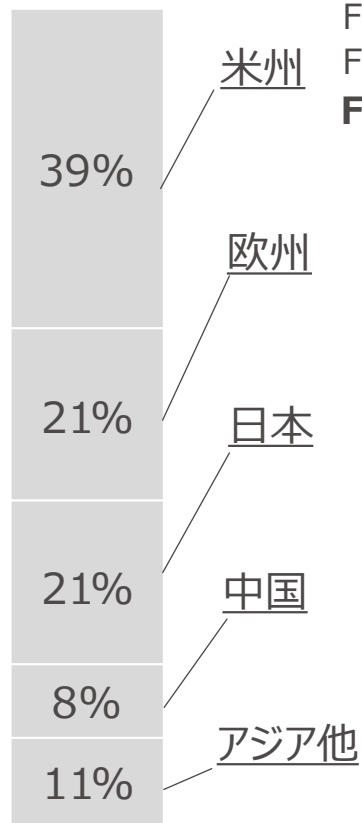
(TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

(億円)

	Q2			Q2累計			コメント	Q2累計 売上増減	
売上収益	( ) 内は為替影響除く						GBS グローバル ブラッド ソリューション  GTI グローバル セラピー イノベーション	: 北米で好調な全血採血システムの売上に加えて、Rika（原料血漿採取システム）が大幅に増収  : 北米を中心に、細胞・遺伝子治療に伴う細胞採取の需要拡大に加えて、装置の切り替え需要が継続	+89  +2
	432	484	554	841	980	1,071			
調整後 営業利益	48	64	86	106	132	156	利益	: Rika（原料血漿採取システム）の売上増加による収益性改善が寄与し増益	
利益率	11%	13%	15%	13%	13%	15%			

# 地域別売上収益：米州が力強く全体を牽引

FY25 Q2累計  
地域構成比



売上収益 (億円)		FY25 Q2累計 増減率	コメント
( ) 内は為替影響除く			
Q2累計	Q2		
FY23	1,537	797	
FY24	1,906	947	9%
<b>FY25</b>	<b>2,071</b>	<b>966</b>	(15%)
-----			
	896	452	8%
	1,040	499	(6%)
<b>1,122</b>	<b>579</b>		
-----			
	1,011	536	
	1,068	540	3%
<b>1,098</b>	<b>570</b>		
-----			
	411	211	1%
	446	215	(5%)
<b>451</b>	<b>222</b>		
-----			
	585	290	-3%
	627	304	(2%)
<b>607</b>	<b>313</b>		

全カンパニーで堅調な需要が継続。TIS、PS、GBSがそれぞれドライバーとなり、為替除きで二桁伸長を継続。TAのQ2回復もプラスに貢献

C&VではTISとTNが安定した成長を継続、TCVも価格改定が奏功し増収。TMCSではPSが大幅増収

C&Vが伸長を継続。特にTNが二桁伸長で牽引。TMCSは事業譲渡を主因にHCSが減収、PSは期ずれの回復で増収

C&VではTNがVBPによる販路拡大で成長を継続、TAは供給制限や関税影響等で減収

C&Vは各セグメントの需要拡大により伸長。HCS、PS、GBSで期ずれの影響により減収

# 業績予想修正について

# 業績予想修正の前提

- 好調なファンダメンタルズと為替前提の変更を反映し、**売上収益・調整後営業利益（AOP）を上方修正**
- 買収関連費用およびポートフォリオの継続的な見直しに伴う一時費用の影響を反映し、**営業利益を下方修正**

## 既存事業の堅調なAOP成長



ファンダメンタルズ

力強い需要・積極的な価格政策により、関税影響100億円を相殺し、さらに100億円を上積み



為替

## 将来の成長に向けた投資/一時費用



M&A関連

将来の成長に向けた投資

- CDMO事業 レバークーゼン工場
- OrganOx



ポートフォリオ  
見直し

最適なリソースアロケーション  
継続的なポートフォリオの見直し

# 業績予想の修正

( ) 内は為替影響除く

金額 (億円)	FY24実績 (A)	FY25 従来予想 (B)	FY25 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)/(A)
売上収益	10,362	10,500	<b>11,080</b>	+580	+7% (+8%)
営業利益 (%)	1,577 (15.2%)	1,940 (18.5%)	<b>1,815 (16.4%)</b>	-125	+15%
調整後営業利益 (%)	2,034 (19.6%)	2,140 (20.4%)	<b>2,215 (20.0%)</b>	+75	+9%
当期利益	1,170	1,430	<b>1,360</b>	-70	+16%
通期 業績予想前提レート (USD/EUR)		140円/160円	<b>148円/169円</b>		
下期 業績予想前提レート (USD/EUR)		140円/160円	<b>150円/170円</b>		

## FY25実施のM&A除く\*

金額 (億円)	FY24実績 (A)	FY25 従来予想 (B)	FY25 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)/(A)
売上収益	10,362	10,500	<b>10,990</b>	+490	+6% (+8%)
営業利益 (%)	1,577 (15.2%)	1,940 (18.5%)	<b>1,942 (17.8%)</b>	+2	+24%
調整後営業利益 (%)	2,034 (19.6%)	2,140 (20.4%)	<b>2,252 (20.5%)</b>	+112	+11%

\*M&Aはレバークーゼン工場とOrganOx

# 業績予想の修正（カンパニー別）

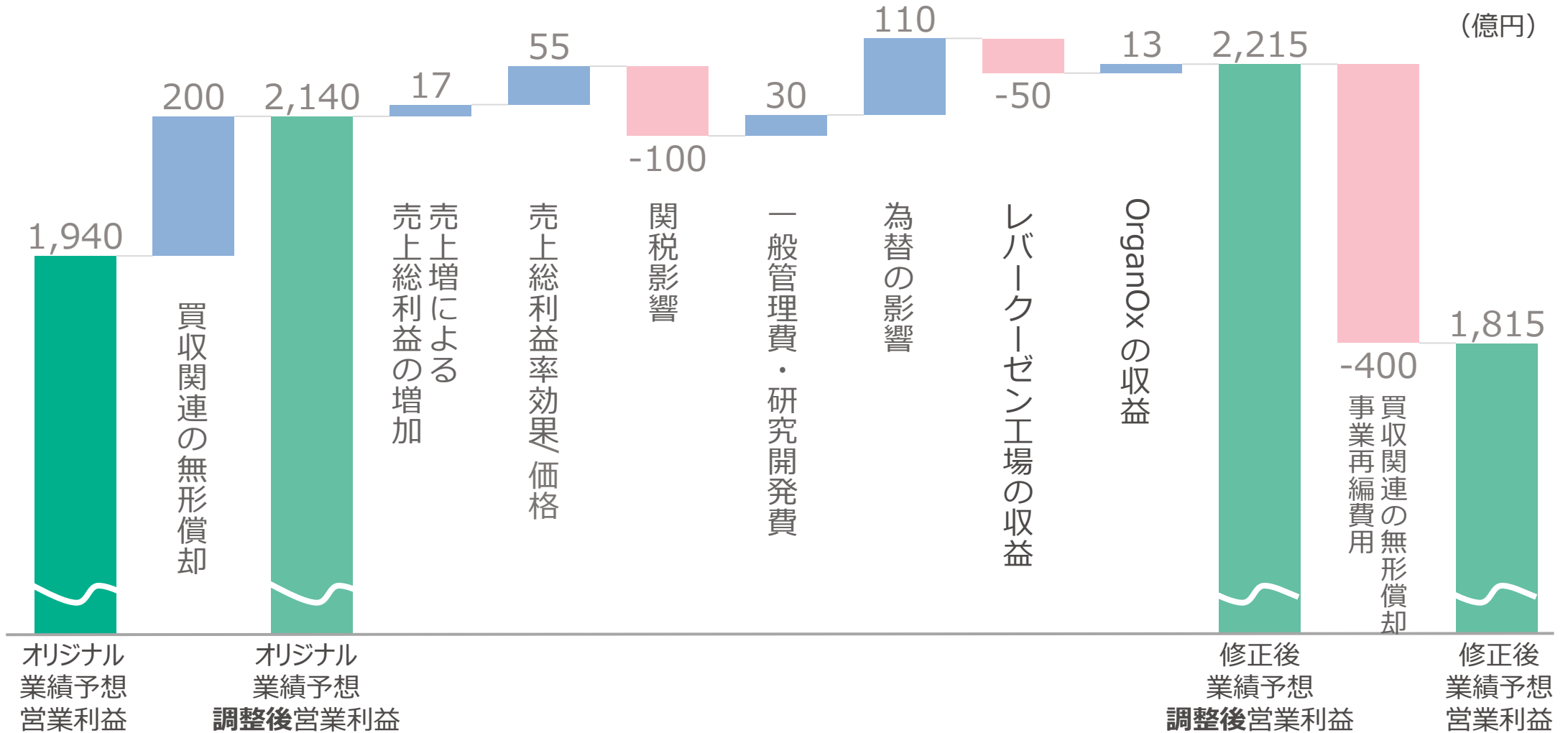
（ ）内は為替影響除く

金額（億円）	売上収益					調整後営業利益					
	FY24 実績 (A)	FY25 従来予想 (B)	FY25 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)/(A)	FY24 実績 (A)	FY25 従来予想 (B)	FY25 修正予想 (C)	修正額 (C)-(B)	増減率 (C)/(A)	FY25 修正予想 調整後 営業利益率
C&V	6,244	6,180	<b>6,580</b>	+400	+5% (+7%)	1,547	1,570	<b>1,700</b>	+130	+10%	26%
TMCS	2,112	2,160	<b>2,180</b>	+20	+3% (+3%)	230	280	<b>220</b>	-60	-4%	10%
M&Aを除く*						230	280	<b>270</b>	-10	+17%	12%
TBCT	2,003	2,160	<b>2,230</b>	+70	+11% (+18%)	265	300	<b>310</b>	+10	+17%	14%
OrganOx*	-	-	<b>90</b>	+90		-	-	<b>13</b>	+13		14%
Total	10,362	10,500	<b>11,080</b>	+580	+7% (+8%)	2,034	2,140	<b>2,215</b>	+75	+9%	20%




\*M&A（レバークーゼン工場）は、2025年10月～2026年3月の業績予想

\*OrganOxは、2025年11月～2026年3月の業績予想

# 調整後営業利益 修正のポイント

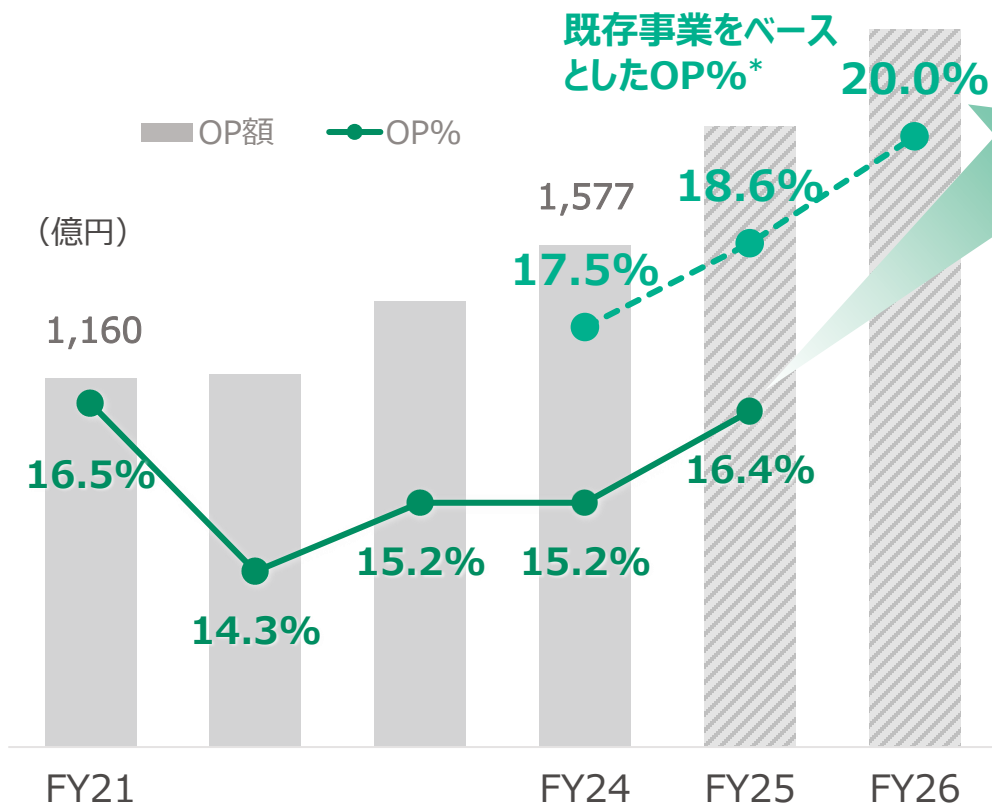


# 調整後営業利益 調整項目の主な内訳

	主な内訳	上期実績	下期発生見込
 <b>M&amp;A関連費用</b>  約 90 億円	✓ OrganOx取得に伴う費用	10億円	40億円
	✓ OrganOx買収無形資産の償却（暫定）	—	40億円
 <b>ポートフォリオ見直し</b>  約 90 億円	.....	.....	.....
	✓ TIS事業に関する独占販売権の契約見直し	45億円	45億円
 <b>既存の調整項目等</b>  約 200 億円	.....	.....	.....
	✓ 買収無形資産の償却	100億円	100億円

# GS26達成 さらにその先に向けて

## ■ 売上成長率・営業利益率・ROICは堅調に推移



\*買収関連費用、ポートフォリオ見直しに伴う一時費用を除く

成長性

**売上成長率**

**1桁台後半**

(5年間平均)

継続的な成長により  
「売上1兆円」を視野に

収益性

**営業利益率**

**20%以上**

(5年で)

※調整前

資本効率性

**ROIC**

**10%以上**

(5年で)

ROEは10%以上を堅持

前提:

- 営業利益率・ROICは、新規M&Aの影響を除く
- 1ドル 107円、1ユーロ 128円

※2021年12月16日発表「中長期を見据えたビジョン」より再掲

# 参考資料

# P&L (四半期推移)

(億円)

		FY24 Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
売上収益		2,505	2,636	2,639	2,600	2,750
売上総利益		1,395 (55.7%)	1,451 (55.1%)	1,385 (52.5%)	1,455 (56.0%)	1,470 (53.5%)
一般管理費		732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)
研究開発費		194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)
その他収益費用		-38	-30	-138	24	-40
営業利益		431 (17.2%)	458 (17.4%)	242 (9.2%)	559 (21.5%)	451 (16.4%)
調整後営業利益		529 (21.1%)	553 (21.0%)	441 (16.7%)	591 (22.7%)	553 (20.1%)
四半期 平均レート	USD	149円	152円	153円	145円	147円
	EUR	164円	163円	161円	164円	172円

# 販管費（四半期推移）

(億円)

		FY24 Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
人件費		384	406	430	406	421
販促費		47	54	60	55	53
物流費		59	56	57	57	59
償却費		68	70	71	68	70
その他		175	190	200	169	205
一般管理費 (売上比率)		732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)
研究開発費 (売上比率)		194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)
合計 (売上比率)		926 (37.0%)	963 (36.6%)	1,006 (38.1%)	920 (35.4%)	979 (35.6%)
四半期 平均レート	USD	149円	152円	153円	145円	147円
	EUR	164円	163円	161円	164円	172円

# 販管費（前年同期比）

（億円）

	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY24 Q2	FY25 Q2	増減	増減率
人件費	782	827	45	6%	9%	384	421	38	10%
販促費	99	108	9	9%	11%	47	53	6	13%
物流費	109	116	7	6%	9%	59	59	0	0%
償却費	137	139	2	1%	4%	68	70	3	4%
その他	353	374	21	6%	8%	175	205	29	17%
一般管理費	1,480	1,564	84	6%	8%	732	808	76	10%
（売上比率）	(29.1%)	(29.2%)				(29.2%)	(29.4%)		
研究開発費	368	335	-32	-9%	-5%	194	171	-23	-12%
（売上比率）	(7.2%)	(6.3%)				(7.7%)	(6.2%)		
合計	1,847	1,899	51	3%	5%	926	979	53	6%
（売上比率）	(36.3%)	(35.5%)				(37.0%)	(35.6%)		

# 調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	FY24 Q2	FY25 Q2
調整後営業利益	1,040	1,144	529	553
調整① 買収無形資産の償却費	-109	-100	-53	-50
調整② 一時的な損益	-54	-34	-45	-53
営業利益	877	1,010	431	451

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計
事業再編費用	-66	-13
TBCT土地売却益	14	-
減損損失	-	-45
買収関連費用	-	-12
製薬会社からの損失補償	-	37
その他	-1	-0

# 調整後営業利益、営業利益に影響する主な費用（FY25見込）

	継続的	一時的
調整後 営業利益 に影響する費用	<p>買収関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レバークーゼン工場の収益 -50億円 (6カ月分)</li> </ul> <p>買収関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OrganOxの収益 +13億円 (5カ月分)</li> </ul>	—
営業利益のみ に影響する費用 (調整項目)	<p>買収関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OrganOx 買収無形資産の償却費用 -40億円 (5カ月分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TIS事業に関する 独占販売権の契約見直し -90億円 (上期-45億円、下期-45億円)</li> </ul> <p>買収関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OrganOx取得に伴う費用 -50億円 (上期-10億円、下期-40億円)</li> </ul>

※これまでも発生した既存の調整項目は除いています

# 設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY22	FY23	FY24	FY25Q2累計	FY25予想
設備投資	758	784	825	540	950
償却費	635	702	781	392	870
買収無形償却費	188	200	210	100	240
それ以外	447	502	571	292	630

設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

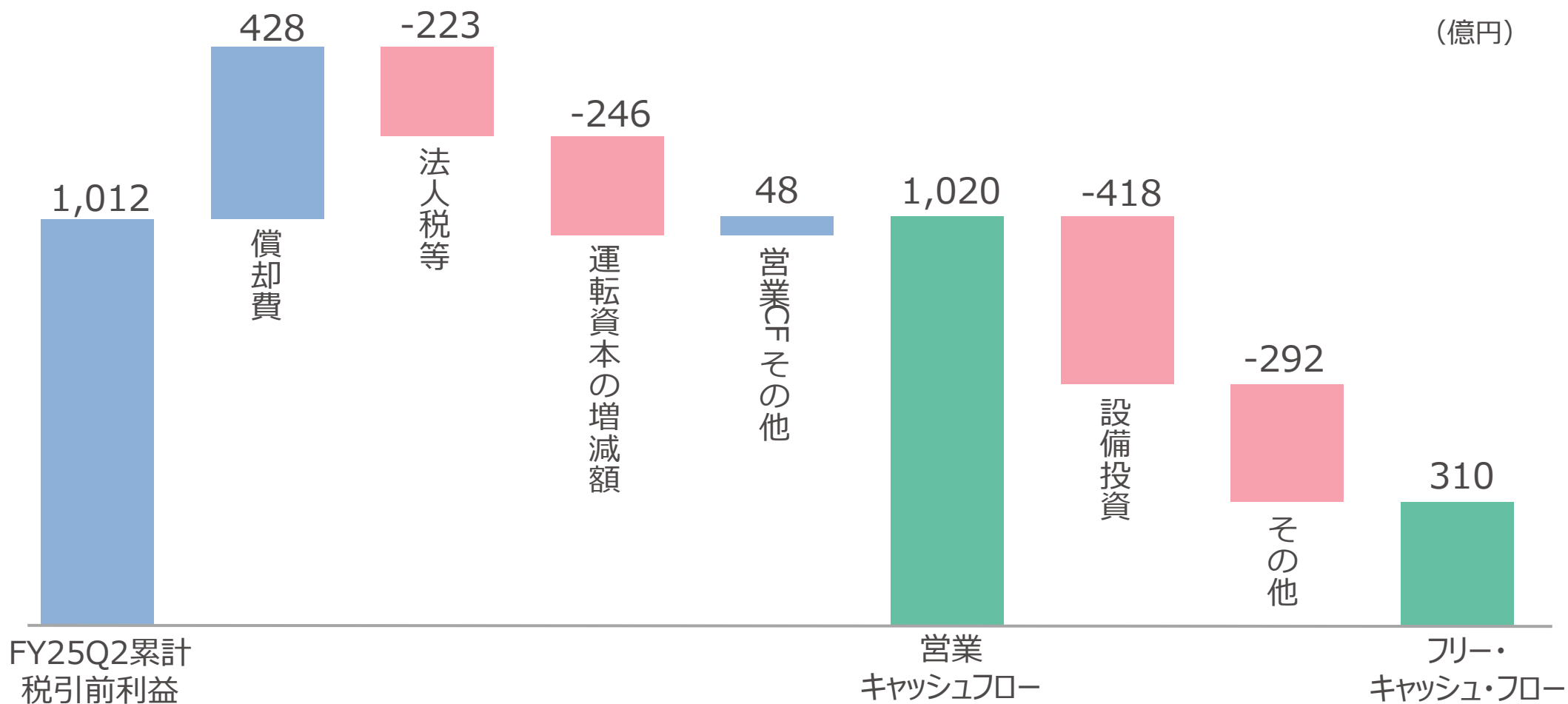
## ■ FY25Q2累計（設備投資：540億円）

CDMO（開発製造受託）等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設他、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

	FY22	FY23	FY24	FY25Q2累計	FY25予想
研究開発費	616	691	742	335	715

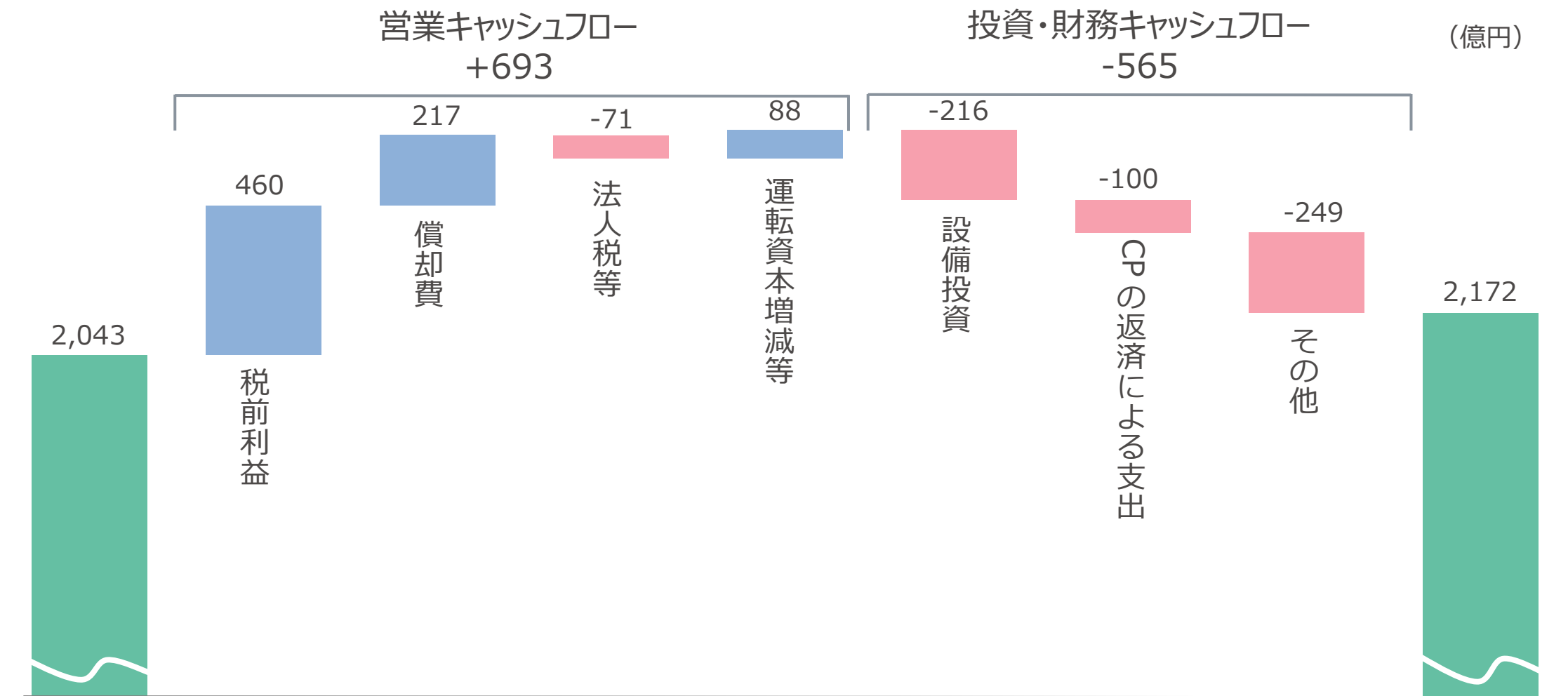
# フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



前年同期比	+161	+10	+37	-198	+1	+11	-57	-265	-311
-------	------	-----	-----	------	----	-----	-----	------	------

# キャッシュフロー (Q2)

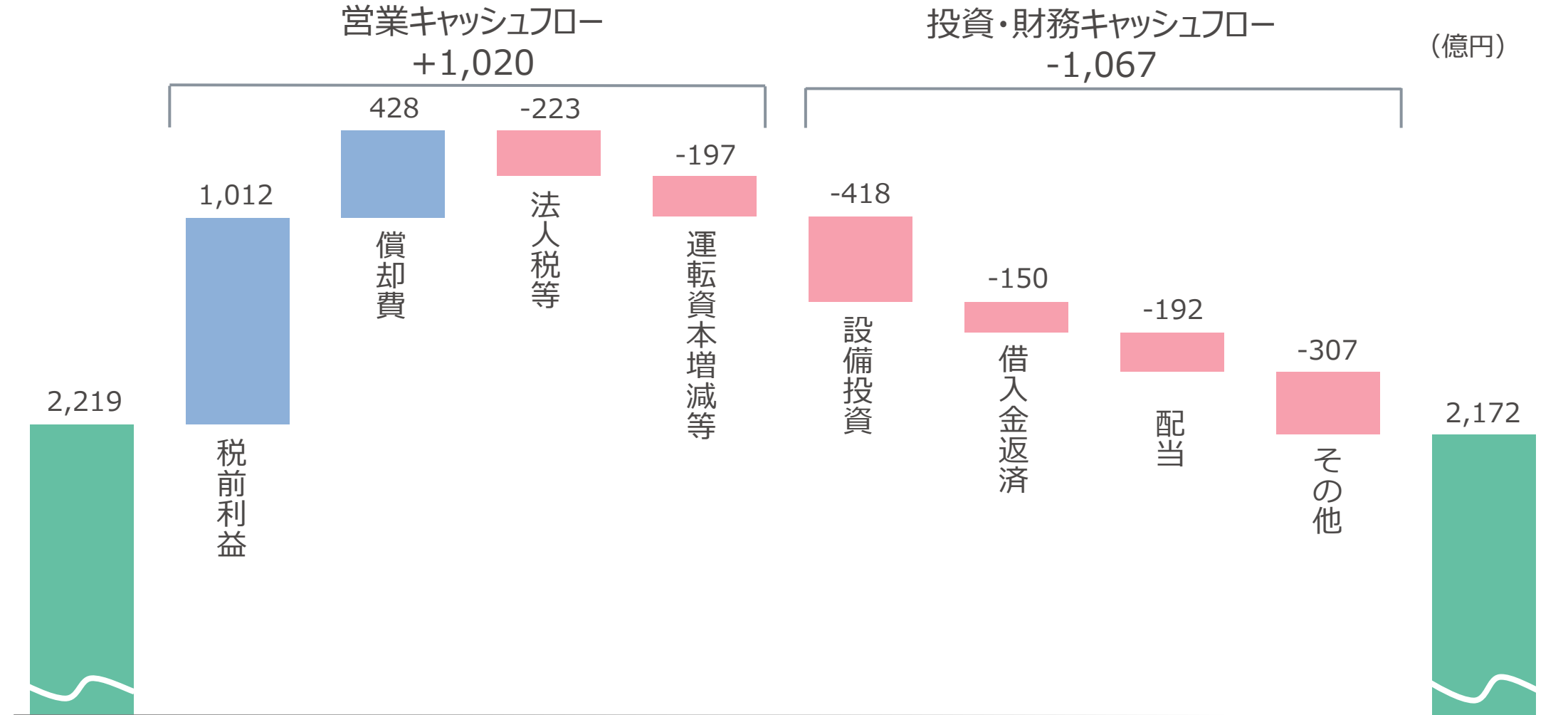


\*FY25Q1末  
現預金残高

\*期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY25Q2末  
現預金残高

# キャッシュフロー（Q2累計）



\* FY24末  
現預金残高

\* 期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY25Q2末  
現預金残高

# 為替感応度

1円の円安に対する年間影響額（フロー） （億円）

	USD	EUR	中国元
売上収益	28	12	40
調整後営業利益	3	6	23

1円の円安に対する影響額（ストック） （億円）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-3.0	-1.0	-2.5

